

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	形態機能学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	一年次		学期及び曜時限	前期 月・金2限	教室名	406教室
担 当 教 員	細貝 正江	実務経験と その関連資格	鳥取大学医学部および関連医療専門学校において、基礎医学(生理学)を担当し、神経生理学に関する研究を行ってきた。 博士(医学)、日本生理学会評議員			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>この科目では、生命を維持するための機能である植物機能のうち呼吸・循環・血液を中心に学習する。人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造を学び、あわせて各器官の機能、人体における役割を学んでいく。1.体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解する。2.からだの機能を構造に結びつけて理解する。3.からだの正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験(100点)で評価する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>【教科書】「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」 医学書院 【副読本】「系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック」 医学書院</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>講義のノートまとめ(図も記載)、プリント課題</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>積極的な取り組みを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人体を構成する細胞・組織について理解し、説明できる。	教科書		・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	1. 人体とは 2. 人体を構成する細胞・組織			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人体の構造と機能について理解し、説明できる。	教科書		・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	3. 人体の構造と機能 1) 構造から見た人体 2) 機能から見た人体 3) 体液とホメオスタシス			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の構造について理解し、説明できる。	教科書		・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	1. 呼吸器系の構造と機能 1) 呼吸器の構造-1			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の構造について理解し、説明できる。	教科書		・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	呼吸器の構造-2			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の機能について理解し、説明できる。	教科書		・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	2) 呼吸器の機能-1			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の機能について理解し、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	呼吸器の機能-2		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の排出機能について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	2. 循環器系の構造と機能 1) 心臓の構造		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の排出機能について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	2) 心臓の拍出機能-1		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の排出機能について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	心臓の拍出機能-2		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢循環の構造について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	3) 末梢循環の構造-1		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢循環の構造について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	末梢循環の構造-2		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の循環とその調節について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	4) 血液の循環とその調節		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	3. 血液の組成と機能 1) 赤血球		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	白血球、血小板、血漿タンパク質と赤血球沈降速度について理解でき、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	2) 白血球 3) 血小板 4) 血漿タンパク質と赤血球沈降速度		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の凝固と繊維素溶解、血液型について理解できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 講義のノートまとめ (図も記載すること) プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	5) 血液の凝固と線維素溶解 6) 血液型		